

E Z - W I N総合評価シート 20.6.7 日曜日 東京11R G1 安田記念 芝1600m 15:40 想定RP指数 49-53

枠番	馬番	馬名	性別	年齢	負担重量	予想人気	調教偏差値S	調教偏差値A	パターン評価☆	自己最高値更新	前走比偏差値up	中間調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気勝率	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	レンジ	最高正指数	RP指数好走レンジ	総合評価点数
×	1	ダノンプレミアム	牡	5	58	5						C	海外	4,7	5,7	6	15		15					120	52.1 62.5	25
△	2	ダノンキングリー	牡	4	58	3							1,5	3,3	6,6	17	33		37	\$		短	122	48.4 65.1	39	
×	3	ノームコア	牝	5	56	7				*			7,2	12,14	海外	2	13		18					119	47.4 60.8	23
◎	3	クルーガー	牡	8	58	10	B					C	7,5	2,13	海外	2	27		18					115	48.2 58.1	25
▲	4	アーモンドアイ	牝	5	56	1							5,1	11,9	7,2	7	73		65		\$			124	54.1 61	30
×	4	インディチャンプ	牡	5	58	2							4,2	5,2	海外	33	67		55					120	52.3 62.5	32
	5	ペルシアンナイト	牡	6	58	13							8,1	海外	12,2	0	6		6	\$		短	119	46.5 61.1	32	
	5	ケイアイノーテック	牡	5	58	11	B						12,2	14,2	16,1	0	7		3					116	46.8 63.4	22
	6	アドマイヤマーズ	牡	4	58	6						C	海外	11,9	8,4	5	17		18					113	52.8 66	17
☆	6	ミスターメロディ	牡	5	58	14							地方	6,9	6,8	0	7		3					114	49.9 52.4	12
○	7	グランアレグリア	牝	4	56	4							12,1	8,1	4,7	17	33		29		\$			120	52.2 57.6	33
×	7	セイウンコウセイ	牡	7	58	12				☆			2,9	2,10	2,13	0	4		3		\$			113	45.9 51.8	12
	8	ヴァンドギャルド	牡	4	58	8						C	11,1	8,5	5,3	6	15		18					113	51.7 61.3	27
★	8	ダノンスマッシュ	牡	5	58	9	C					D	1,5	4,13	4,1	1	12		13					116	44.4 57.9	20

昨夜の雨量が相当に多かったようで、芝は重馬場、ダートは不良馬場発表。
しかし路盤の状態は良いようで、11時前には稍重発表となりましたな。
この分ならば、発走時刻を迎える頃には良馬場まで回復しそうでございます。

しかし、先週日曜と似た状況で、内外に乾きムラが出て
内が伸びやすい馬場になる可能性は高いでしょう。

展開面は、セイウンコウセイとダノンスマッシュの2頭が外枠に入った事で
前に行くにはテンからエンジンをふかすことになりそうですな。

この2頭のテンのスピードはほぼ互角。
前走で逃げ戦法開眼のダノンスマッシュは、
同門2頭の露払い的な存在でもあり、恐らく逃げましような。
そしてダノックスが G1 を勝たせたいのは、未だ無冠のキングリーではなかろうかと。

そうなれば、セイウンコウセイはお約束ポジションの2番手追走。
その後にキングリーが続くような馬群になるのではないかと妄想します。

速い流れに不慣れなプレミアムは内で囲まれる可能性も出て参りますな。
すぐ横をアーモンド・クルーガー・インディに蓋をされる最低なポジション……

さらに上位人気馬が概ね好位からの競馬をしたいタイプで、
頭数の割に意外と流れはタイトになるやも知れませぬ。

またそれはキングリーにとって有難い流れでございましょう。

キングリーにもう少し馬格があれば、悩まず本命にするのでございますが…

最終追いきりの画像を観て、その飛ぶようなフットワークが
瞼から離れぬ爆穴馬を本命に据えようと無謀を企む拙者は
やはりバカなの？でございましょうか…

本命は4番クルーガー。

既に8歳を迎えましたが、坂路の動きはまさに飛ぶようなフットワーク。
その闘志にいささかの衰えも伺わせず。

雄大な馬格を持ち、タフな流れに非常に強いタイプでございますな。
RP 指数が50を切るようなマイル戦では常に差の無い競馬をしています。

母父にインリアリティ系を持っており、極端な高速馬場でなければ
十分に戦える配合を持っています。

生乾きのちょっと軽い目の馬場で内有利馬場ならば、何かひとつ恵まれれば
勝てることはないでしょうが圈内粘り込むことは夢ではなかろうかと。

雨が無ければ本命の予定だった

11番グランアレグリアは、8ヶ月の休養を挟んだ事で馬体が大きく成長し、それと共に掛かり癖も緩和。本来あるべき差しのスタイルが板についたように思えますな。

いまだキャリア7戦という若さで、これから本格化を迎えるであろうグランアレグリアしか、アーモンドアイを倒せる可能性の有る馬はそうはおりませんまい。

馬場が均一に乾き、内外のコンディションがフラットであれば・・・そう思うと非常に無念でございますな。

ミスターメロディはこの人気はいささか舐められすぎの感。

ノーザンダンサー系のスピード血統馬が頻繁に穴をあけるレース。馬格もあり、無印は勿体なき事かと。

ダノンスマッシュは前走で開眼。

逃げるとしぶといタイプとお見受け致しました。
前走でも後続を一旦引き付けて突き放しにかかる
味の有る競馬でございました。
前哨戦ハンターという呼び声も高こうございますが
G1 で3着の実績馬を前哨戦ハンターとは申ませぬ。

3連複はクルーガーからのフォーメーションで万券縛り。

馬連は多分安いでしょうから無しの方向で。